

あっぷでーとOBにインタビュー

～米原市役所編～

休憩室の掃除機がけ



原市役所は新庁舎に移転しました。そのため、掃除方法やスケジュールが変わり、ご本人にとって大きな変化となりました。採用時から米原市役所で丁寧に関わっていました。担当者や関係者のご協力を、あっぷでーとの定着支

二〇二一年五月には、旧米原市役所で丁寧に関わっていました。採用時から米原市役所で丁寧に関わっていました。担当者や関係者のご協力を、あっぷでーとの定着支

人にとって大きな変化となりました。採用時から米原市役所で丁寧に関わっていました。担当者や関係者のご協力を、あっぷでーとの定着支

Uさん（33歳男性）は、二〇一七年四月にあっぷでーと一緒に入所されました。作業自体は大変良くなります。さらに「気持の安定を保つ」「相談スキルの向上」「コミュニケーション能力の向上」などの訓練を行った上でより安心して働く、と段階を踏んで訓練を行ってきました。そして、二〇二〇年四月から旧米原市役所で作業員（清掃員）として働いています。

Q 仕事内容について教えてください。
A 米原市役所新庁舎の清掃です。掃除機をかけたり、ほうきで掃いたり、消毒をしていります。Q がんばっていることについて教えてください。
A 連休を挟むと、館内が普段よりも汚れているので掃除を多めのことで、こまめに水分補給をして疲れないようにがんばっています。また、コロナ対策でマスクをつけて掃除をしていますが、そのまま館内の階段を昇り降りするしんどくなることがあります。

Q 仕事内容について教えてください。
A 米原市役所新庁舎の清掃です。掃除機をかけたり、ほうきで掃いたり、消毒をしていります。Q がんばっていることについて教えてください。
A 連休を挟むと、館内が普段よりも汚れているので掃除を多めのことで、こまめに水分補給をして疲れないようにがんばっています。また、コロナ対策でマスクをつけて掃除をしていますが、そのまま館内の階段を昇り降りするしんどくなることがあります。

Q 仕事内容について教えてください。
A 勤めてよかつたことはあります。A 市役所の人やお客様に挨拶をうつ、質問する、相手の話を聞いてから返すなどです。作業では、株式会社タルマンさんに行って、糸の加工作業をがんばっていました。Q Uさんが働いて助かっています。Q うなづくことがあります。

Q 仕事内容について教えてください。
A 熱心に一生懸命取り組んでくれています。わからないことがあれば聞きに来ててくれて、確実に進めてくれることがあります。A 働いてよかつたことはあります。A 人付き合いやコミュニケーションについて勉強しました。A あっぷでーとがんばりました。A 市役所の人やお客様に挨拶をうつ、質問する、相手の話を聞いてから返すなどです。作業では、株式会社タルマンさんに行って、糸の加工作業をがんばっていました。Q Uさんが働いて助かっています。Q うなづくことがあります。

Q 仕事内容について教えてください。
A 真面目に自分の仕事をやり遂げること、体調管理ができること、困ったことが相談できることです。周りの人と協力して仕事をするという意識をもつてもらえたとありがたかったです。今後もあっぷでーとからは訓練生が卒業していくことです。訓練生が卒業していくことは、周囲の人から「Uさんはいるじゃないか」と声をかけられると、「手伝いましょうか」と声をかけてくれます。そのため、周りの人から「Uさんはいるじゃないか」と声をかけられるぐらい信頼されています。米原市役所にはなくてはならない貴重な人材です。

Q 仕事内容について教えてください。
A 熱心に一生懸命取り組んでくれています。わからないことがあれば聞きに来ててくれて、確実に進めてくれることがあります。A 働いてよかつたことはあります。A 人付き合いやコミュニケーションについて勉強しました。A あっぷでーとがんばりました。A 市役所の人やお客様に挨拶をうつ、質問する、相手の話を聞いてから返すなどです。作業では、株式会社タルマンさんに行って、糸の加工作業をがんばっていました。Q Uさんが働いて助かっています。Q うなづくことがあります。

Q 仕事内容について教えてください。
A 真面目に自分の仕事をやり遂げること、体調管理ができること、困ったことが相談できることです。周りの人と協力して仕事をするという意識をもつてもらえたとありがたかったです。今後もあっぷでーとからは訓練生が卒業していくことです。訓練生が卒業していくことは、周囲の人から「Uさんはいるじゃないか」と声をかけられると、「手伝いましょうか」と声をかけてくれます。そのため、周りの人から「Uさんはいるじゃないか」と声をかけられるぐらい信頼されています。米原市役所にはなくてはならない貴重な人材です。

Q 仕事内容について教えてください。
A 熱心に一生懸命取り組んでくれています。わからないことがあれば聞きに来ててくれて、確実に進めてくれることがあります。A 働いてよかつたことはあります。A 人付き合いやコミュニケーションについて勉強しました。A あっぷでーとがんばりました。A 市役所の人やお客様に挨拶をうつ、質問する、相手の話を聞いてから返すなどです。作業では、株式会社タルマンさんに行って、糸の加工作業をがんばっていました。Q Uさんが働いて助かっています。Q うなづくことがあります。

あっぷれびゅー

第2号 令和3年10月1日発行

就労支援センター あっぷでーと

〒521-0012
滋賀県米原市米原中町通549
電話 0749-50-6740
FAX 0749-50-6743

「おしゃべり」とおり

「おしゃべり」とおり

～解説～

この四コマに出てくる毛布たん、作業中色々気になりつつも仕事が進んでいないようです。集中して欲しいなあ！このマンガは、配慮があつたほうが良い人の「こんな行動にこんな理由があったのか」と知つてもらえるように四コマにしてみました。

皆さんには「比喩表現」を使いますよね？直接的ではなく置き換えて表現することです。例えば、「ヒマワリのような笑顔」だとか、「雪のように

例としてみました。

皆さんは「比喩表現」を使

うますよね？直接的ではなく置き換えて表現することです。

○時までに○個できますか？」

と伝えると分かりやすくなります。余裕があれば「こうい

う状況を『日が暮れる』とい

う言い方を使うこともありますよ。

と説明しておぐと、次回から

は行き違いが減るかもしれません。（by毛布たん）

「白い肌」などか、「雲みたいに軽い」など・・・枚挙にいとまがあります。私たちにどうは分かりやすく、イメージ

じしやすくなる表現ですが、

「イメージしにくい」人たち

にどうは分かりにくく

なることがあります。この場

合は、「日が暮れる」という

比喩表現ではなく「○時まで

に終わらせる必要があるよ。

○時までに○個できますか？」

と伝えると分かりやすくなり

ます。余裕があれば「こうい

う状況を『日が暮れる』とい

う言い方を使うこともあるよ。

と説明しておぐと、次回から

は行き違いが減るかもしれません。（by毛布たん）



「ひっこみ」

「カーラ」

「うそ」

月に1度、リフレッシュする方法を学ぶ目的で外出したり、働くことに関連した学習目的で講師をお呼びしたりする「学習会」。7月は琵琶湖博物館に行きました。新型コロナウイルス対策として、密を避け、少人数グループで行動しました。

展示品をながめる姿

昨年の10月にリニューアルオープンした琵琶湖博物館は、展示のエリアが多く、滋賀の歴史や、自然と人の関わりについて学ぶことができます。湖の生き物の水族展示もあり、訓練生は興味津々に眺めていました。リフレッシュするだけでなく、グループでの協調を意識したり、集合時間までの時間配分を考えたりと、学びにもなります。「まずはお土産！」と最初にお土産コーナーから行くユニークなグループもありました。



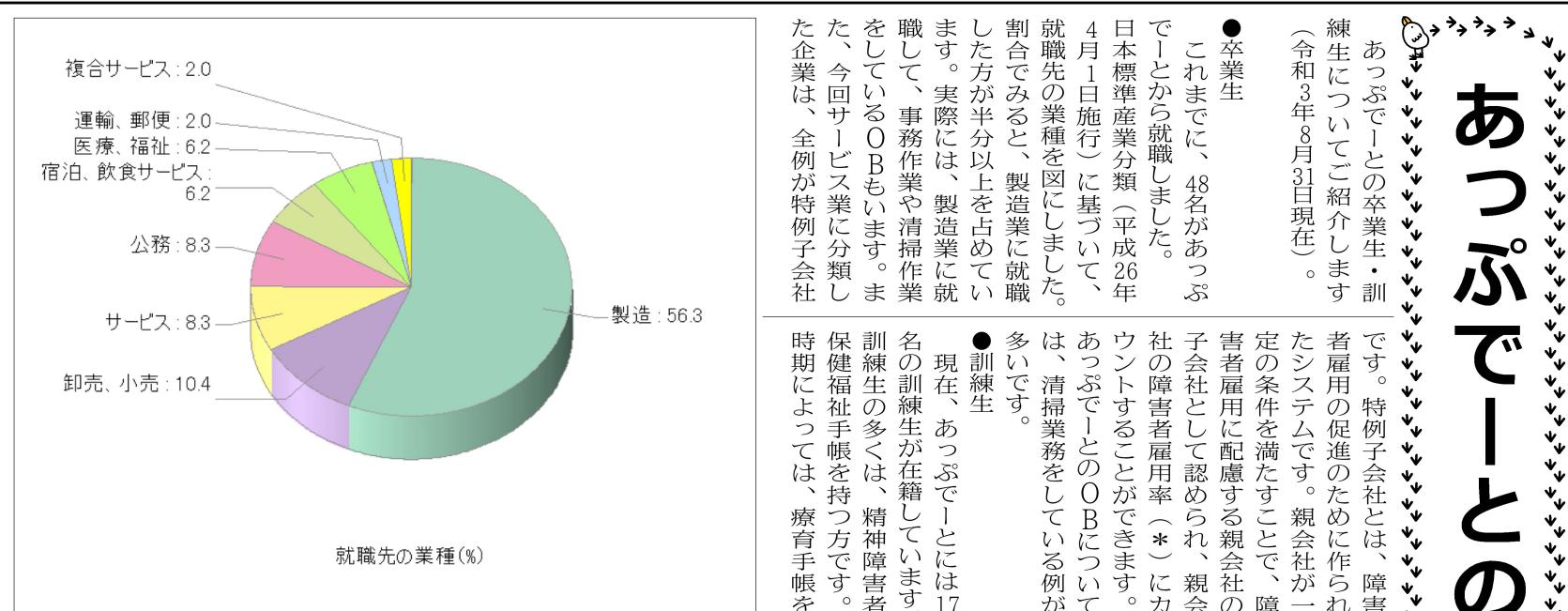
壁面に飾られた「地質」

限られた時間の中ではありましたが、訓練生は「面白かった」「アザラシが可愛かった」「お土産のぬいぐるみにすごく迷った」など、楽しんでくれたようです。今後の学習会については、新型コロナウィルスの感染状況によって延期・中止があるかもしれません。また、次回号に掲載できることを願っています。

令和3年度 上半期の学習会

- 4月 体育館で運動
 - 5月 知っておきたいお金の使い方
 - 6月 アウトレットでお買い物
 - 7月 琵琶湖博物館
 - 8月 (10月に延期)
 - 9月 緊急事態宣言のため中止

 写真提供(米原市役所 政策推進部 情報政策課)



入所してすぐに、週5日、9時～16時というペースで来られる方ばかりではありません。体調をみて、それぞのペースでスケジュールを決めるところから始めます。最初は内職作業の訓練が中心ですが、あつぶで一とにいる時間が増えてくると、他の取り組みも始めます。社会技能訓練（SST）、認知行動療法（CBT）、会話や金銭管理の学習グループ、個別面談など、一人一人に合わせたプログラムを組んでいきます。しかし、訓練生は、訓練にあたる期間よりも、就職後の人生の方が圧倒的に長くなります。限られた期間の中で不安や課題を全て解消できるわけではありませんが、少しでも仕事をしやすくするコツ、生活しやすくなるコツをつかんでもらえたらと考えています。

(*) 障害者雇用率とは・・・従業員のうち、一定の割合で障害者を雇用するよう国が定めたもの。現在は、例えば従業員が43・5人以上いる民間企業は、障害者がそのうちの2.3%以上になるように雇用する義務があると定められている。

スペシャルオリンピックス(Special Olympics; SO)

オリンピック、パラリンピックの熱戦に心打たれた2021年。

さて、「スペシャルオリンピックス」はご存知ですか？

「スペシャルオリンピックス」は、1968年、故ケネディ大統領の妹、ユニス・シュライバー氏によって設立されました。設立当時の目的は、知的障害のある方たちがスポーツを楽しむ機会や、スポーツを通じて社会に参加する機会を増やすことでした。スペシャルオリンピックスは、性別、年齢、スポーツのレベルを問わず、共に成長し、共に楽しむ、そしてその経験を分かち合うことが重要と考え活動しています。実際の活動は都道府県ごとの地区組織で構成され、それぞれが独立した組織・団体として活動を行っています。

あつぶで一とからは、現在4名のOBが「湖北チーム」に所属しています。種目は、バスケットボール、卓球、フロアホッケーの3種類。月1回の午前中、長浜市民体育館にて練習に励んでいます。バスケットコー

トでは、汗を流しながら行う「パス回し」「シュート練習」、卓球は、格技場で白熱する「ラリー」、フロアホッケーではスクイック片手に「コーナー回り」と、各競技、それぞれの風景がみられます。もちろん、休憩の合間にチームメイトと談笑したり、互いに応援し合ったりという交流もあります。

ボランティアには、アスリートのご家族、競技経験者など、様々な方がいらっしゃいます。それぞれ、球拾いをして下さったり、コーチとして指導をして下さったりと、多くの方にご協力を頂いております。

新型コロナウイルスの影響により、未開催の日々が続いているのですが、再開された折には、感染症対策をしっかりと講じ、皆がスポーツを楽しめるよう努めて参ります。
(参照: 公益財団法人
スペシャルオリンピックス日本)



パーキングエリアの花植えをしました

あつぶで一とでは年に一度、社会福祉法人湖北会さかた作業所さんがとりまとめて下さる「伊吹パーキングエリアの花植え作業」を行っています。毎年、梅雨の時期と重なり、天気予報を確認しながらの日程調整には苦労します。雨で延期となると、苗が腐ってしまう可能性があるからです。今年は、7月7日（水）に実施することになりました。当日は朝から大雨でしたが、数時間ごとの雨雲レーダーを見て決行と判断。結果、花植えを始める頃には小降りとなり、皆で一斉に植え始めました。花の種類は、ベゴニア・トレニア・メランポジウムの3種類。カラーは白・赤・桃・青の4種類で、全部で1200株ありました。4班に分かれ、色とりどりの苗を、「この花はどこに植える？」「間隔はどれくらい？」などと相談しながら一つ一つ丁寧に植えました。中には自分でアレンジをして植える人もいますが、「この場所にこれを植えて」と具体的な指示があった方が良い人もいます。小雨の中でカッパを着ての作業はとても蒸し暑く、体はクタクタになりました。それでも、自分た

防災に備える

～水害訓練を行いました～

この夏も、熱海、広島、福岡などで、大雨による災害がありました。テレビなどで、家や車が泥水に流された場面をご覧になった方もいるのではないかでしょうか。

こういった災害が、自分たちの身近な所でも起きる可能性があります。8月14日には、あっぷでーとから車でわずか15分程の鳥居本で、土砂災害警戒のレベル3が発令されていました。当センターの所在地は、防災ハザードマップで洪水浸水想定区域に指定されています。実際の地形などから鑑みると大丈夫と思いがちですが、それでもいつ何が起こるかわからないのが災害です。

今までにあつぶで一とでは、火災・地震等が起きた時のために避難訓練を行ってきました。また、消防署にご協力をいただき、講習や煙体験、起震車体験等を行っています。今年度は、米原市から風水害・土砂災害に対する訓練依頼があり、7月に実施しました。災害状況としては、天野川が氾濫注意水位に達し、市から警戒レベル3が発令されたと想定して、避難訓練を行いました。

訓練生や体験生には、事前に訓練を行う日と、避難時に携行するものなどをお知らせしていました。当日には、「避難になる可能性もあるので、避難準備をしておいてください」「これから避難します」と二段階の指示を行いました。これにより、特に混乱することなく避難することはできました。しかし、災害は、いつ起るかわかりません。荷物を持っているときに災害に遭うと決まっているわけでもありません。今回の訓練でも、避難してから「携帯電話を忘れた！」など、気づかれた方がいました。

避難訓練は繰り返し行うことが必要です。実際に災害が起きたとき、迅速かつ安全に避難行動をとることで、人的被害を少なくすることができます。咄嗟に必要な行動をとるのは難しいことであり、一番良い方法は、普段からやり慣れた行動にしておくことが大切です。災害時の被害の軽減、自分たちの安全のため、今後も訓練を行っていきます。

